

わが職場

当社は、鋼橋や高層ビルの鉄骨等を主として製作する金属製品製造業で今年創業九十周年を迎えました。四国工場は、富山、栃木に続く三番目の工場で、当社初の臨海工場として昭和四十八年に多度津町に設立されました。

以来、本四架橋をはじめとして近年では東京ゲートブリッジ、東京スカイツリー等ランドマーク的な構造物や大きな建設プロジェクトに携わっております。また、近隣においても丸亀港の京極大橋、国道十一号バイパスの原田高架橋、多度津高架橋等の製作・施工を行っております。

現在四国工場においては、正社員が二百二十名余り、構内協力会社も含めると四百名近くが作業に従事しています。

安全管理の面から見ると、製作物件が大きいことから、重量物の取り扱いや高所の作業がどうしても多くなってきましたので、それに伴い災害が発生し

た場合に大きな怪我につながるリスクをはらんでいます。

それに加えて、作業環境としても金属の切断、溶接に伴う粉じんの多い職場となっています。

このような事から作業者には保護具の着用を徹底しています。ヘルメット、安全靴は当然の事、粉じん作業における防塵マスク、高所作業における安全帯等、まずは基本的な部分で各自の身を守る事を第一に指導しております。

さらに、安全衛生委員会、安全衛生推進会議、ヒヤリハット会議等により、設備面や作業環境あるいは作業手順上の問題点を随時話し合いリスクの低減を図るようにしています。特に設備面においては、設立から四十年近く経過している事から老朽化している物も多く職場からの問題点をきちんと受け止めながらタイムリーに改善して行くように努めています。

各職場においては、毎朝のミーティングにおける健康管理、KY活動の実施と共に、近年は危険予知にリスクアセスメン

トの考え方を取り入れたリスクアセスメントKY活動も行っております。

場内巡視についても日常のパトロールの他、職場の自主パトロール、管理職と職場代表とのペアで行うパトロールに加えて、他工場との相互パトロールも行っています。

また、近年メンタルヘルス対策が大きな問題となって来ておりますが、当社においては長時間労働対策としてスタッフと現場作業者それぞれの上限を定めその時間を超過した者についてはストレッチの実施を行い、その結果によって産業医の面談を行う体制を採っています。

さらに組合とも協力してさまざまな行事やレクリエーションを行うことによつて、従業員間のコミュニケーションの増大を図るようにしています。

今後安全第一をスローガンに、社会に貢献出来るような高品質の建造物を製作して行きたいと考えております。

川田工業株式会社四国工場

安全管理課

課長 川辺 裕明